

氏名	松下 誠	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	臨床化学、酵素学、病態検査学				
学位	博士(医学)				
学歴	東京理科大学理学部化学科				
経歴	昭和大学藤が丘病院中央検査部、埼玉県立衛生短期大学講師、スウェーデンメオ大学臨床生化学教室研究員、埼玉県立大学短期大学部助教授、埼玉県立大学教授、埼玉県立大学大学院教授(兼務)				
所属学会(役職)	日本臨床検査学教育学会(理事)、日本臨床化学会(評議員)、日本臨床化学会関東支部(常任幹事)、日本電気泳動学会(評議員)、日本臨床検査自動化学会、日本臨床衛生検査技師会、埼玉県臨床検査技師会、日本分析化学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	改良BCP法におけるIFCC血漿タンパク国際標準物質(ERM-DA470k/IFCC)と患者血清の反応差の解析	共著	日本臨床検査自動化学会会誌 ; 42(1) ; P.89-92	村本良三, 下垣里河, 佐々木真弓, 松下 誠	2017.4
2	血清アルカリホスファターゼ(ALP)活性測定の見直しをIFCC標準測定法にトレーサブルな方法への変更に関する提案	共著	臨床化学 ; 46 ; P.138-145	山舘周恒, 山崎浩和, 松下 誠, 前川真人, 他	2017.5
3	タンパク質と核酸・遺伝子をはかるタンパク質の酵素科学的分析法	単著	ぶんせき ; 2018(2) ; P.46-51	松下 誠	2018.2
(3) 学会発表					
1	臨床検査の現場に還元する研究を目指して (大会長講演)	単著	第12回日本臨床検査学教育学会学術集会、越谷市	松下 誠	2017.8
2	ピロガロールレッド法を用いる血清総蛋白測定法の評価	共著	第12回日本臨床検査学教育学会学術集会、越谷市	○小澤恵理, 池澤里桜, 高橋由季, 山口奈摘美, 我妻朋代, 中島一樹, 松下 誠	2017.8
3	アガロースゲルおよびセルロースアセテート膜電気泳動法における血清蛋白分画の相違	共著	第12回日本臨床検査学教育学会学術集会、越谷市	○我妻朋代, 小澤恵理, 池澤里桜, 高橋由季, 山口奈摘美, 中島一樹, 松下 誠	2017.8
4	アガロースゲル電気泳動法を用いるリポ蛋白分画における各脂質の反応性の相違 — コレステロールとトリグリセライドの和を染色する新たなリポ蛋白分画との比較 —	共著	第12回日本臨床検査学教育学会学術集会、越谷市	○山口奈摘美, 我妻朋代, 小澤恵理, 池澤里桜, 高橋由季, 中島一樹, 松下 誠	2017.8
5	蛋白質に特異性の高いニッケル-ピウレット法を用いる血清総蛋白の2-point rate法の考案 (第24回日本臨床検査自動化学会論文賞受賞講演)	共著	日本臨床検査自動化学会第49回大会、横浜市	○工藤思華, 大野頑張, 金谷水樹, 長浦淳, 吉村梨菜, 青柳絵里香, 永井謙一, 村本良三, 松下 誠	2017.9
6	血清総蛋白測定における1試薬系及び2試薬系ピウレット法のアルブミンとγグロブリンの反応性の相違	共著	日本臨床検査自動化学会第49回大会、横浜市	○高橋由季, 池澤里桜, 小澤恵理, 山口奈摘美, 我妻朋代, 中島一樹, 松下 誠	2017.9

7	ヒトアルブミン溶液と蛋白標準血清を標準物質としたときのBCG法と改良BCP法の相違	共著	日本臨床検査自動化学会第49回大会、横浜市	○中島一樹, 森田有紀, 永井謙一, 村本良三, 松下 誠	2017.9
8	L-フェニルアラニンで小腸型ALPを阻害させるIFCC法のALP活性に対応可能なALPアインザイム分析法の考案	共著	日本臨床検査自動化学会第49回大会、横浜市	○池澤里桜, 小澤恵理, 高橋由季, 山口奈摘美, 我妻朋代, 中島一樹, 松下 誠	2017.9
9	自動分析法および電気泳動法から算出されるアルブミン/グロブリン比の逆転現象について	共著	第57回日本臨床化学会年次学術集会、札幌市	○松下 誠, 岡田穂乃香, 中島一樹, 永井謙一, 村本良三	2017.10
10	低アルブミン血症における改良BCP法とBCG法の不一致の解明	共著	第57回日本臨床化学会年次学術集会、札幌市	○中島一樹, 永井謙一, 村本良三, 松下 誠	2017.10
11	Understanding the discrepancy in the serum albumin levels measured by BCG and the modified BCP methods	共著	The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine、京都市	○Nakajima K, Nagai K, Muramoto Y, Matsushita M	2017.11
12	Difference in reactivity among lipids in lipoprotein fractionation using agarose gel electrophoresis	共著	The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine、京都市	○Yamaguchi N, Nakajima K, Matsushita M	2017.11
(4) その他					
1	血清総蛋白質測定の問題点の整理	共著	第34回日本臨床化学会関東支部例会	○永井謙一, 松下 誠	2017.11
2					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	日本臨床化学会関東支部分科会プロジェクト		血清総蛋白質測定の問題点の整理とその標準化に関する研究(研究分担者)		2015.9~2017.8
2	埼玉県立大学奨励研究(C研究)		総蛋白質とアルブミン測定および蛋白分画測定の両者のA/G比の相違に関する研究(研究代表者)		2017.4~2018.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	臨床化学分析(科目責任者)	2017.4~2017.9	私が編著となっている臨床化学検査学を教科書として講義を実施した。		
2	臨床化学検査学(科目責任者)	2017.9~2018.3	私が編著となっている臨床化学検査学を教科書として講義を実施した。		
3	臨床検査概論	2017.4~2017.9	臨床化学検査の入門に関わる資料を作成して講義を行った。		
4	生体情報評価学(大学院)	2017.4~2017.9	臨床化学研究法についての資料を作成して講義を行った。		
(2) 演習					
1	臨床検査薬演習(科目責任者)	2017.9~2018.3	本学オリジナルの演習テキストを作成して実施した。		
2	健康福祉科学演習(大学院)、科目責任者	2017.9~2018.3	特別研究指導教員として大学院生に文献抄読会を実施した。		
3	検査総合演習 I	2017.9~2018.3	臨地実習前の心得等について指導を行った。		
(3) 実習					
1	臨床化学分析実習(科目責任者)	2017.4~2017.9	本学オリジナルの実習テキストを作成して実施した。		
2	臨床化学検査学実習(科目責任者)	2017.9~2018.3	本学オリジナルの実習テキストを作成して実施した。		
3	臨地実習	2017.9~2018.3	1施設の担当教員として実習のマネジメントおよび指導を行った。		
4	ヒューマンケア体験実習	2017.4~2017.9	2施設の担当教員として実習のマネジメントを行った。		
(4) 論文指導					

1	博士前期課程	2017.4～2018.3	指導教員として2名(1名は本年度修了)、副指導教員として1名を指導した。
2	卒業研究	2017.4～2018.3	検査技術科学専攻4年次生5名を指導した。
(5) その他			
1	学年間交流会開催	2017.4～2018.3	検査技術科学専攻および大学院生15名を対象に交流会を2回開催した。
2			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	国立大学臨床検査技師会 2017年度地区研修会講師	国立大学臨床検査技師会	臨地実習の考え方・方針
2			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	日本臨床検査学教育協議会	副理事長	2015.4～
2	日本臨床検査学教育協議会 学会運営委員会	委員長	2017.5～
3	日本臨床衛生検査技師会誌 医学検査	査読委員	2007.4～
4	日本臨床化学会 ALP標準化プロジェクト	委員	2014.4～
5	臨床検査技師試験委員会	委員	2015.6～
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	THE MEDICAL & TEST JOURNAL (株式会社 じほう)	第12回日本臨床検査学教育学会学術大会の広報	2017.8
2			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教育研究審議会委員		
2	健康開発学科学科長		
3	教員評価委員会委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	第24回日本臨床検査自動化学会論文賞	日本臨床検査自動化学会	2017.9
2	第12回日本臨床検査学教育学会学術大会 優秀発表賞(卒業研究指導学生受賞)	日本臨床検査学教育学会	2017.8
3	第57回日本臨床化学会年次学術集会 トラベルアワード(博士前期課程指導学生受賞)	日本臨床化学会	2017.10
4	日本臨床検査自動化学会第49回大会 学会誌掲載候補論文(原著論文)推薦 (博士前期課程指導学生)	日本臨床検査自動化学会	2017.11
5	日本臨床検査自動化学会第49回大会 学会誌掲載候補論文(技術論文)推薦 (卒業研究指導学生)	日本臨床検査自動化学会	2017.11
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	第12回日本臨床検査学教育学会学術大会 大会長(2017年8月23-25日、埼玉県立大学で開催した)		